

事務事業評価表(既存事業)

コード 10-1-1	事務事業名 会計支払事務	所管部課 会計課
---------------	-----------------	-------------

事務事業の概要	事務事業の目的 支出命令伝票に基づいて、適正な支出であるかを審査し、指定金融機関を通じ、債権者に対して支払いを行う。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 伝票の審査、決裁処理後、支払方法・支払日別に集計し、所定の様式にて銀行に支払いを依頼する。	根拠法令等 会計事務規則
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 処理伝票枚数	活動指標の考え方(定義) 支出処理した伝票の枚数
	支払方法変更課数	会計課より支払方法の変更を依頼した課
	成果指標名 誤支払発生件数	成果指標の考え方(定義) 支払先・金額を誤って支出した伝票の枚数
	単票口座振替伝票枚数	支払方法が「単票口座振替」で支出した伝票の枚数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		3,552	2,897	3,358	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,552	2,897	3,358		
	所要人員(B)	人	6	6	6		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	49,476	49,638	49,968	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	53,028	52,535	53,326	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/( 処理伝票枚数 )	千円	0.75	0.71	0.72		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	枚			74,292	70,000
		実績値	枚	70,674	73,970	74,292	
	活動指標	目標値	課			0	25
実績値		課			0		
成果指標	目標値	枚			0	0	
	実績値	枚	0	0	0		
成果指標	目標値	枚			2,000	1,000	
	実績値	枚			2,155		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 10-1-1	事務事業名 会計支払事務	所管部課 会計課
---------------	-----------------	-------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	期日通りに伝票を執行し、また未執行伝票に対する処理、誤入力への対応など、円滑な支出に対する努力がなされた。また、金額相違などの事務処理上のミスも無かった。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	支出の管理・審査、金融機関との連携など、市として管理すべき業務である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	システムを利用して大量の伝票管理を行い、事務を分担して効率的に業務を行っている。17年度から導入した新システムにより、より効率的な事務を検討することとする。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	債権者には振込通知を行い、問合わせ等にも迅速に対応している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今後も引き続き、社会状況の変化に対応すべく支払業務の向上を図っていくこととする。

17年度における改善点	新財務会計システムの導入に伴い、より効率的な業務を検討する。
-------------	--------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象者に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。  
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。